

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会（第25期・第3回）
議事録

1 日 時 2021年3月22日(金) 10:00～12:40

2 方 法 オンライン開催（Zoom）

3 出 席

委員：馬奈木俊介、沖大幹、三枝信子、春山成子、植松光夫、江守正多、大手信人、
春日文子、香坂玲、近藤昭彦、近藤康久、杉原薫、竹中千里、中村尚、氷見山幸夫、福
士謙介、村山泰啓、渡辺知保

参考人：安成哲三

オブザーバ：大西有子、Hein Mallee

事務局：薦田有紀子

欠 席：小林傳司、高村ゆかり、狩野光伸、小池俊雄、古谷研、谷口真人、蟹江憲史

4 議題等

- 1) 前回議事要旨の確認
- 2) 前回ブレイクアウトセッションの振り返り
- 3) ブレイクアウトセッション（今期具体的アクション3つ）
- 4) 2050年の世界ビジョンについてのレビュー
- 5) その他

5 配布資料

資料1：議事要旨案（第1回・第2回）

資料2：グループ討論（第2回）の概要

資料3：気候変動を明らかにする—WCRP（世界気候研究計画）の活動と日本の貢献—
（三枝委員）

資料4：フューチャー・アース日本委員会の運営委員会改選について

資料5：日本における戦略的研究アジェンダ

6 議事内容

1) 前回議事要旨の確認

沖委員長により、資料1に基づき議事要旨案の確認が行われた。修正の指摘はなかった。

2) 前回ブレイクアウトセッションの振り返り

大手委員により、資料2に基づき前回のグループ討論の概要が説明された。

3) 話題提供

資料5に基づき、地球研の大西有子氏（谷口委員代理）からFEの日本における戦略的研究アジェンダ（JSRA）について説明があり、今後取り組むべき研究課題とテーマのリスト及び

それを策定した経緯について話題提供があった。

資料3に基づき、三枝委員より世界気候研究計画(WCRP)の活動及び設定している今後の研究課題について話題提供があった。

江守委員から、資料4に基づきフューチャー・アース日本委員会運営委員の改選と共同委員長の選出結果について状況報告が行われた。

4) ブレイクアウトセッション

沖委員長により下記のグループに分かれて討論を行うことが説明された。

○25期のFE推進連携委員会の目標と活動(Goal)

- (1) A-1: 沖大幹、近藤昭彦、渡辺知保
- (2) A-2: 小池俊雄、三枝信子、氷見山幸夫、馬奈木俊介

○今後推進すべきFE的な研究(Theme)

- (3) B-1: 香坂玲、福士謙介、安成哲三、植松光夫、竹中千里
- (4) B-2: 大手信人、近藤康久、杉原薫、中村尚

○日本におけるFEコミュニティの連携強化(Means)

- (5) C-1: 春山成子、春日文子、Hein Mallee
- (6) C-2: 江守正多、村山泰啓、大西有子

グループ討論の後で全体会合を行い、各グループのまとめを行った。また、今期における学術フォーラムについて以下のような意見交換を行った。

- ・第25期の学術フォーラムについては、当委員会の幹事団とFE日本委員会の幹事団でこのうち相談し、開催時期を含めて検討したい。
- ・学術フォーラム等の機会には研究者のみならず幅広いコミュニティの参加が望ましい。
- ・学術フォーラムの形式にこだわらず、日本委員会として発信の機会の充実をめざしたい。
- ・SDGsとFEとが連携したフォーラムをぜひ企画してほしい。

5) その他

- ・氷見山委員と近藤(昭)委員から、地球環境変化の人的側面(HD)分科会主催の公開シンポジウム「コロナ禍が加速する持続可能な社会の実現に向けた地球環境変化の人的側面研究の推進」を3月24日(水)に開催予定であることが紹介された。
- ・香坂委員から、Nature Asset KANに関する活動として第15回生物多様性条約(CBD)締約国会議(CBD/COP15)が2021年10月に中国・昆明で開催予定であることが報告された。
- ・氷見山委員より「持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会」については早期に活動開始できるようにしてほしいとの発言があり、事務局から当該分科会の設置は1月の幹事会で承認されていること、沖委員長から氷見山委員を世話人として活動開始してほしい旨が示唆された。